

聖書入門講座 第1回 「愛なる神様と聖書」

●Intro: 「知る」とは？ 朝日新聞:養老孟司氏

上原専祿先生:東京商科(現一ツ橋)大学元学長:「解るといふことはそれによって自分が変わることでしょう」

1 聖書とは (命を与える神の言葉)

●聖書はキリスト誕生前に書かれた「旧約聖書」とキリスト昇天後の「新約聖書」とに分かれる。

●全66巻 (1,189 章、31,173 節) 旧約聖書39巻+新約聖書27巻 正典

●聖書のテーマ: 「救い」と「回復」 旧約は来るべきキリストを表し、新約は地上にいられたキリストを表す。

創世記1章-2章、ヨハネの黙示録21章-22章(罪の無い章)

●毎年約 5 億冊印刷・発行されている「世界(人類)のベストセラー」

(ミリオンセラ:星の王子様《世界で 2009 年現在》8,000万部、窓ぎわのトットちゃん《日本国内》750万部)

旧約聖書 「古い約束の聖なる書」

●キリスト誕生以前(Before Christ) BC 1,500 年から書かれ BC400 年に完成。 BC=Before Christ(英語)

●ヘブル語で書かれ 39 巻から成る。

新約聖書 「新しい約束の聖なる書」

●キリスト昇天の後、Anno Domini(ラテン語)AD80年代に完成

AD=Anno(年) Domini(主の) (ラテン語)=in the year of our Lord

●ギリシャ語で書かれ 27 巻から成る。

生ける神の言葉 (Ⅱテモテ 3:16) 聖書の初めの 5 巻は、世界で最も古い書物。儒教の「大学」が B.C. 5 世紀に記され、ヒンズー教のベーダの中の「知識の書」も B.C. 5 世紀、仏教の経典「三蔵」は B.C. 1 世紀、イスラム教の「コーラン」が A.D. 7 世紀、神道の「古事記」「日本書紀」が A.D. 8 世紀に記されたのに比べ、聖書の初めの 5 巻は、それらよりずっと古く B.C.15 世紀に記された。

①聖書は書かれて以来、訂正されたり書き直されたりしたことがない。他宗教の経典との比較

②聖書は始めから終わりまで一貫性がある。

- 1600 年という年月にわたって40人以上(王、農民、哲学者、漁師、医師、政治家、学者、詩人、あらゆる階層の出身者)によって、聖書は完全に一冊の書物をなしている。
- 一つの教理体系、一つの道徳的規準、一つの救いの計画、一つの歴史の筋書きをもって貫かれている。

③聖書は2千年間にわたってベストセラーである。

- 哲学、教育論、モラル等が著しく変化する世界で、変化していない。
- あらゆる迫害の中で、存続し保存されてきた軌跡の書。

④聖書は神の靈感によって書かれている。(Ⅱテモテ3:16)

聖書は、すべて神の靈感を受けて書かれたものであって、人を教え、戒め、正しくし、義に導くのに有益である。

聖書信仰=聖書は誤りなき神の言葉と信じる信仰

※教会用語マメ知識:ハレルヤ=主をほめたたえます。 ホザナ=救いたまえ

アーメン=「本当に」「まことにそうです」「然り」「そうありますように」…同意を表す言葉として用いられます。

2 人と世界を創造された神の存在

神様の属性 (日本人の神概念とは違う)

- ①神は霊である。(ヨハネ 4:24)
- ②神はいのちである。(ヨハネ 5:26)
- ③神は自存される。(出エジプト 3:14/ヨハネ 8:24)
- ④神は無限である。(詩篇 145:3)
- ⑤神は不変である。(詩篇 102:27/マラキ 3:6/ヤコブ 1:17)
- ⑥神は真実である。(申命記 32:4/ヨハネ 17:3)
- ⑦神は愛である。(I ヨハネ 4:8)
- ⑧神は永遠である。(詩篇 90:2)
- ⑨神は聖である。(I ペテロ 1:16/ I ヨハネ 1:5)
- ⑩神は遍在である。(詩篇 139:8/エレミヤ 23:23・24)
- ⑪神は全知である。(詩篇 147:4・5)
- ⑫神は全能である。(マタイ 19:26)

神様と人との関係

- ①**神様は創造主(つくり主)** / はじめに神は天と地とを創造された。(創世記 1 章 1 節)
されど主よ、あなたはわれわれの父です。われわれは粘土であって、あなたは陶器師です。
われわれはみな、御手のわざです。(イザヤ64章8節)

体細胞 **60 兆** (6 に 0 が 13 個) その60兆の一つの細胞の中に、50 億のDNAが目的どおり正確に、デザインされ並び組み合わせられている。これらすべてが偶然？

私達は神の作品であって、製品では無い。陶芸家だった父の作品、水漏れ。

作品の価値は作者によって決まります。

- ②**神様は人類に計画を持っている。**

わたしがあなたがたに対していただいている計画はわたしが知っている。それは災を与えようというのではなく、平安を与えようとするものであり、あなたがたに将来を与え、希望を与えようとするものである。(エレミヤ 29:11)

- ②**神様は私達を愛しておられる。**(ヨハネ I 4:9~:10)

神はそのひとり子を世につかわし、彼によってわたしたちを生きるようにして下さった。それによって、わたしたちに対する神の愛が明らかにされたのである。わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して下さって、わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわしになった。ここに愛がある。

どのようにして神の存在を知るか？

- ①**被造物によって。**(ヘブル 3:4) 世の中にあるもので、自然にできたものはない。必ず背後に造った人がいる。

- ②**祈りによって。** 知るだけではなく、キリストを味わうこと。

- ③**歴史によって。** 歴史を学ぶとき、不思議を感じ、歴史を調べるときに、その背後に神の御手を見る。(History)歴史は神が作られた物語。

- ④**聖霊によって。**
教えられなくても、神の存在を感じることもある。(I コリント 12:3)

★**ヨハネ3:16 「神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。**

それは御子を信じる者がひとりも滅びないで永遠の命を得るためである。

それでは何故、偉大なる神が我々を愛し、素晴らしい計画をもっておられるのに現実には問題の中で、悩み、苦しみ、悲しまなければならぬ暗い世界に生きているのか？(続く)